

「第9回 土木設計関係技術発表会」 発表概要書

発表内容	事例名（業務名）	令和2年度小田川付替環境調査他業務
	業務発注者名	中国地方整備局 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
発表者	所属協会名	岡山県測量設計業協会
	所属会社	(株) エイト日本技術開発
	発表者名	進藤 俊則

発表事例の概要

<図表も含め1000字(40字×25行)程度以内>

①業務の内容、技術的特徴

【内容】小田川合流点付替事業による周辺環境への影響を検討するため、工事中のモニタリングとして大気環境、水環境及び動植物調査等のほか、工事現場の環境巡視を実施し、対象事業実施区域及びその周辺の現状把握を行った業務である。

【技術的特徴】

①調査内容の確認

平成26年の環境影響評価に基づく事後調査計画、過年度成果及び委員会指摘事項に基づき、本年度及び以降に実施する必要のある調査項目を再整理し、実施内容と時期を提案し、迅速に対応した。

②課題の解決（委員会指摘事項）

- ・アサザの個体保護、仮移植地での活着・生育確認
- ・堤外水路の溶存酸素(DO)濃度低下要因の把握
- ・外来種の拡散防止対策として、ヌートリア、ブラックバス等の駆除

③工事進捗に伴う環境影響への対応

- ・発破工に伴う猛禽類への影響把握のためWeb監視カメラの設置
- ・重要な魚類の保護移動
- ・騒音、振動、低周波音の調査

④関係機関との綿密な調整

多項目の対応・多方面にわたる関係者との調整を行い、手戻りのない業務進捗管理の実施

②高評価の要因

- ・モニタリングとして実施する必要のある項目、課題のある項目、新たな対応が必要な項目について、その必要性和対応方法を明確にし結果を得たこと
- ・地元の利を活かして、迅速な対応（魚類保護移動、低周波音調査）を行ったこと
- ・過去委員会で課題として挙げられた事項について、解決できたこと

③苦労した点、工夫した点

工夫した点…発破時の猛禽類への影響について、通常の見視観察では明確に判断できないことから、監視カメラによるリアルタイム観察を提案した。その結果、2羽の繁殖確認ができた。